

山行報告

新龍アルプス

【女性委員会・・・的場山】

日時：6月19日(木) リーダー：砂川(美) 参加者数：9名

参加者：貝塚(陽)・河合(由)・金島・北川・西村・松尾(美)・松下・待場

コース：姫路8:28～播磨新宮9:02～タクシー(5分)～馬立登山口9:35～馬立分岐
10:35～亀岩10:45～亀の池10:50～城山11:15～門ノ築石11:40(昼食)
12:00～的場山13:45～両見坂14:20～龍野公園14:40～JR本龍野15:37～
姫路16:01

★ 女性委員会山行 梅雨の晴れ間

金島

6月19日 梅雨の最中であり今日の登山はくもり空模様で夜明けです。計画は女子だけのパーティーで姫路奥の山、新龍アルプス登山です。何とか晴れそう・・・と変な確信で家を出発。通勤通学の電車らしく若い人がいっぱい電車に到着。JR組の到着を待って山登り実行か中止、果てはお茶会でも・・・姫路駅の構内で急ぎミーティング。結果は登ることになり9名の女子は急いで姫新線に飛び乗りです。ローカルの列車の中はのんびりと車窓に見る田んぼの稲も青々と小雨を受けての風景です。播磨新宮駅に9時02分到着、雨はかなり強くなっていただけで合羽をまとい登山の用意満々です。「登山口まで1000円でいいよ!」と、常駐タクシー乗務員に誘われ9名は2班に分かれてタクシーで馬立の登山口までお車です。女性委員会の登山はいつもにぎやかそのもの。リーダー砂川美那子さんを先頭に亀岩に向かって登ります。うっそうとした杉林の中は書写山の登りとよく似ています。水分をたっぷり含んだシダ類が多く湿っぽい匂いが一面に漂っています。合羽の中は汗みどろながら久しぶりの山歩きに気持ち良さを感じての山のぼりです。稜線近くまで来ると雨はやんでいるものの霞がかかって遠くを見ることはできません。道は整備されたハイキングコースで歩きやすく「やっぱり、登ってよかった。」と口々ながら前進です。やがて大きなかえるに似た岩や亀岩の通り亀にそっくりな岩が見えてくると美那子さんの案内で「池に寄ってみましょう。」と少し寄り道。ころころと降りたところに池が見えてきた。苔むした石垣に草が生えこの池が人工的に作られたものとすぐにわかります。何の目的のためにこんな山の中に池を作ったのか?池を作るために働き手を駆り出された古人も在ったのではないかと思ひ巡らし9人のおしゃべりです。雨模様でなければこの場所で昼食を取りたいところですが私たちは池を後に亀山山頂に向かいます。古墳があちこちにあり大きな木が生い茂る中を進みます。11時半ごろちょっと広い場所に出ました。霞さえなければ絶対展望の良い場所です。門ノ築石と案内板のあるところで9人並んで昼食タイムです。



女性委員会の登山はなんだかんだとご馳走にありつきます。それぞれが得意のお漬物、お菓子、これだから山登りは止められない。ゆっくりと昼食をとり濡れた御尻を掃いながら城山、的場山への出発です。

趣味のこと、子供のこと、主人のたな卸し、にぎやかです。送電線の鉄塔が見え始めると的場山に入る長い階段です。たっぷりと食べて休憩を取ったあとの歩きはちょっと苦しい。何度も休憩を取り進みます。稜線歩きの道に比べて少し陰しい道になってきた。用心して急坂を下りる。結構厳しい下降です。両見坂に到着、鶏籠山方面の看板があるものの今回は鶏籠山には登らないことにして私たち9名は下山することに決定。遠くふもとを走る列車の窓から見るこの山の姿は、寝仏に見えるそうです。私たちはそのどこを下りているのかしら？ふもとは童謡でなじみの赤とんぼの町たつの市です。里の音が聞こえてきました。午後3時ふもとに無事下山です。下山と同時に今までやんでいた雨が一気に降り出してきた。雨の中、情緒のある町中をJR駅に急ぎます。今日はやっぱり梅雨の真っ最中です。それにつけても山行の間、雨なしとはやっぱり私たち晴れ女かな？にぎやかな女性委員会の新龍アルプス登山でした。終

ちよつと一言 女性部・新龍アルプス山行

靖子

じゅくじよ

熟女パワー 雨が降ろうが 登るわよ いくつも越えし 人生の坂

あおあお

的場山 揖保川の水 いただいて 田植えし稲の 青々見ゆる

つわもの

やまじろ

お

武者が 命を懸けし 山城の 石垣くずれ 夏草生う

高御位山縦走（夏山に向けてのボッカトレーニング）

日時：6月21日（土） リーダー：今山 SL：上田（利） 参加者数：12名

参加者：河合（信）・河合（由）・川鶴・砂川（延）・中嶋・舛賀・待場・森永・山本・渡邊

コース：墓地公園～北山～中塚山～小高御位山～高御位山頂～鷹ノ巣山～百間岩～鹿島神社

★ 高御位山ボッカ山行

河合（由）

梅雨のさなか、連日雨が降っています。激しい雨音に、明日のボッカ山行は中止だろうと独り決めていました。連絡が来ないなといぶかっていると、思い掛けないメールが来ました。

”雨天でも決行です”。エッ、スルノ！！それではと開き直りペットボトル3本に水を入れザックに収める。11キロほどでしょうか。

早朝も雨はしっかり降り続いていましたが、気持は妙に落ち着いています。しだいに雨が弱くなってきて、墓地公園に着く頃には、止んでいるではありませんか。このまま雨具を着ずに歩いたらどんなに嬉しいことか。山の神様もう雨は充分です。

参加者12人（女3人男9人）は重量チェックを受けます。20～10キロといろいろです。中身は鉄アレイ、砂袋、新聞、ペットボトル等など。小さく見えてもかなり重いザック、重くて持ち上げられないザックもあります。子供の時、富士山で始めて見たボッカさんが、荷物を頭の上よりも高々に積んで登る姿を思い出します。

念入りなストレッチを済ませ、舛賀さんのもと、9：15に北山コースに向かいます。歩き始めは、ザックに引っ張られるような感じでしたが、1時間ほどすると背中が落ち着いてきました。ペットボトルをクッション材で巻いておくと良かったのではと思います。陽が射すほどのお天気になり、雨上がりの湿気で汗が吹き出ます。北山コースは始めてでしたが、周りを楽しむ気分になりません。10：35小高御位山で休息、水分の補給に潤う。



会長がボッカ訓練の歩き方を説明される。平坦地も急がずに同じ歩幅で歩くといいらしい。前方に山頂を見ながら、急な登山道が続く、暑い、息苦しい、流れる汗、救いは一瞬の風、たった30分弱だが高低差があるため、ボッカの身には耐え難い。ここが一番の難関でした。淡いピンクのササユリに迎えられて山頂に着く。来馴れた神社での休憩ですが、今回はとりわけ有難かった。この先どうなるか心配していると、重量調節のお触れが出る。早速、ペットボトル1本の水を抜きました。2キロのマイナスがこれほど楽になるとは！ 他の方も神社に寄進したり、水抜きしたり、捨てられない人は大変です。ザックや気分がとても楽になり、ここから先は、濡れた足元に神経を払いながら、バランスを崩さないようにと歩きます。雨が降らないありがたさを忘れ、流れる汗を拭いながら、鹿島神社まで慎重に下ります。

歩き慣れたコースであっても季節、気象、体調など条件が同じわけではありません。コースを変えた時の新たな発見、ボッカ訓練の体験など、一つ一つを積み重ね、意義あるトレーニングにしたいものです。

ちよつと一言

★高御位山ボッカ（歩荷）トレーニング 河合(信)

薄暗い空よりしとしと雨粒が落ちてきて、いかにも「梅雨でござる」と威張っているようです。明日、6月21日（土）の歩荷トレは中止かな？と甘い思い。リーダーの今山さんから“雨天決行”のメールが入る。—これで心が決まる—当日の朝、雨は上がり合羽無しで歩けたのは幸いであったが16kgのザックを背負った時、首の後ろから背中が引っ張られて、肩こりの感じが強くした。北山からの登山で小高御位から高御位山頂への登りはきつく、あえぎながら神社に着く。これでは百間岩まで歩けるか？自分に問いながら、無理であれば途中で下山と考えたが砂川会長の直ぐ後ろを歩き、精神的に引っ張ってもらって完走できました。いつもの登山と負荷を掛けた登山の呼吸の乱れの違いを実感しました。

★高御位山ボッカトレーニングの一口感想 川鶴

久しぶりの山歩き、不安と心配と13kgを背負ってボッカトレーニングに参加させてもらった。北山ルートは初めて小高御位迄の登りは、ダラダラと長く感じた。此处から一旦下り、高御位山への登りに入ったが、山頂が遠く大変きつかった。・・・お疲れさまでした夏山登山の長時間行軍が頭によぎる。

総会記念山行 千町小屋（笠杉山）

日時：6月28日（土）～29日（日） リーダー：砂川(延) 参加者：17名

参加者：今山・内海・貝塚(文)・貝塚(陽)・河合(信)・河合(由)・北川・清水・利弘・西村・長谷川・舛賀・松尾(美)・松下・待場・三木

行動記録：6月28日—別所PA9:00～山崎(Aコープ)買物～千町小屋着11:50～登山口13:00
～笠杉山頂上14:00(休憩)14:15～新道(工事場)14:45(休憩)
14:50～千町小屋着15:10

6月29日—千町小屋発12:30～一宮まほろばの湯12:50(入浴)14:00解散

★総会記念山行「笠杉山」 三木(勉)

播州の山とは、雪彦から段が峰までの山を指すそうです。笠杉山は段が峰の北隣に位置し、周辺には1,000m前後の山々が峰を連ねています。以前オフロードバイクで、この周辺の林道はくまなくツーリングしましたが頂上まで登ったのは少ないです。

バイクで福知溪谷より文殊の水を越え、砥峰高原に出た時の絶景に感動したことをよく覚えています。山行は楽しいものです。どこの山でも別に構いません。1ヶ月位前から来月は山へ行けると思っただけで楽しいし1週間位前になると楽しみも一段と増してきます。インターネットでその山を調べ登山された方のコメントを読んで登った気分になります。関西の百名山、兵庫の山といった本は何回読んでも楽しいものです。特に泊りの山行は登山だけでなく旅行気分になれ周辺の文化・歴史も学べ、ダブルで楽しめます。

総会記念山行「笠杉山」登山当日の朝は曇りで東の空は朝焼け空、予想では午後から雨とのこと。雨もまた、自然の一つ良いものと思ひましょう。

午前8時30分集合場所JR加古川駅北口を出発する。サービスエリアで全員集合、途中「山崎道の駅」前のJAにて夕飯の買物をする。まほろばの湯を越えたところでこぶしの里の看板を右折、正午頃に千町小屋に到着する。小屋といっても立派なもので電気・水道・ガス完備シャワーまでついていて建物も広く新しいこれでひとり一泊500円ということで感謝・感謝です。

小屋には、薪ストーブまであってまた秋にみんなで来たいものです。午後1時、小雨のなか笠杉山頂を目指し出発、1時間少々で頂上着全員記念撮影し下山する。

自分の能力では小雨視界不良というものの地図・コンパスがあっても全く地図が読めない笠杉山頂がわからない、標識の無い山ではまず迷子になると思いました。今後学習会を通じ真剣に山の勉強が必要であると痛感しました。



下山後小屋でのコーヒーは格別でした。砂川会長指示のもと夕食の「白菜鍋」の準備をする。夕食は大変おいしく、お酒も進み愉快な一時を過ごせました。

翌朝6時30分起床、雨は激しく降り続いています。午前中はのんびりと雑談したり、同行の内海さん指導のもと太極拳に似た体操をし、体が柔らかくなりました。

昼食後、千町小屋を引き上げ「まほろばの湯」に向け出発する。この温泉は2億年以上の昔、この辺りが海だった頃の海水が閉じ込められて出来た、珍しい山間の食塩泉だそうです。温泉につかり体の疲れも取れ、楽しい山行でした。尚、各ドライバーの方々には車の運転たいへんお疲れ様でした。

ちょっと一言

● 一泊二日、小屋泊まりの総会記念山行

夏山に向けてポッカトレニングと思ひ自分なりにザックの重みを12kgにして、山行に望む、千町小屋に昼前に到着。小屋で昼食を済まして「笠杉山登山」小雨のため雨具を着ての出発。雑木林の中を登って行くこと45分頂上に着く「登山道の分かり難いルート」三角点にタッチして記念写真を撮り下山。足元に注意しながら下る途中で登山道が林道工事のため山を削り取られて前に進むことができません。

「何か複雑な思い」引き返して元のルートに戻り林道を歩き小屋に帰ってきました。

夕食、朝食おいしかったです。皆様お世話になりありがとうございました。ハセ川

● 総会記念山行・笠杉山一口感想

また雨、今年はよく雨に遭うなァ・・・こんな時は“雨でも楽しく”と、気持ちを切り替える。まっすぐの木立、杉林をゆっくり登って行く。標高900mを越えると広葉樹林帯に変わる。ガスで眺望は悪いけれど、段ヶ峰も見えた。千町小屋は森林王国の産物で、木の精があちこちにいるようで心が平穏。皆で食した白菜鍋もミソ味まるやかで美味しく、胃袋も大満足！でも、この時期・・・ヤマビルにご用心！

YM

六甲縦走西コース（塩屋～市が原）

日時：7月12日（土） 全参加者数：25名（会員15名+教室10名）

参加者：A班 L：今山 SL：舂賀 13名（会員8名+教室5名）

会員：上田・河合（信）・河合（由）・川鶴・北川・利弘

教室：大谷・高橋・武内・西村（寿）・西村（義）

A班コース：JR 塩屋駅7：20～毘沙門堂7：33（班編成・ストレッチ）7：47～旗振山8：15（小休）
8：20～高倉台8：55（小休）9：03 梅尾山9：25～横尾山9：42（小休）9：47～妙法寺
10：45（休憩）11：00～高取山12：05（休憩）12：15～神鉄鶴越駅13：10（公園で休憩）
13：30～菊水山14：55（休憩）15：10～鍋蓋山16：20（休憩）16：30～大龍寺17：00
（休憩）17：10～市ヶ原17：30～新神戸駅18：20（ストレッチ）解散

参加者：B班 L：砂川（延） SL：松下 12名（会員7名+教室5名）

会員：尾内・中嶋・船津・待場・渡邊

教室：荒木・澤田（卓）・澤田（律）・清水・丸岡

B班コース：JR 塩屋駅7：20～毘沙門堂7：33（班編成・ストレッチ）7：48～旗振山8：24～鉄拐山
8：32～高倉台8：57～梅尾山9：26～横尾山9：43 須磨アルプス9：58～東山10：15～
妙法寺11：06～高取山12：20（休憩）12：50～丸山市街13：20（休憩）13：40～神鉄鶴越
14：00～島原水源14：17～菊水山15：30（休憩）15：55～鍋蓋山17：09～大龍寺17：47
～市ヶ原18：13～みはらし台公園18：40（ストレッチ）～新神戸駅19：00 解散

★ 猛暑 32℃！！

六甲西半縦 耐久トレーニング

北川

この7月12日の4日前、冷房の部屋で長時間、同じ姿勢から急に立ち上がった瞬間、ギクッと腰に激痛がきた。くしゃみしても痛い状態で、麻酔注射に始まり鍼（はり）16本、電気治療（マイクロ・スーパーライザ・テクトロン）、高圧酸素カプセル、整体カイロなど、整形外科を連日3軒はしごした。そんなにしてまで、なぜ山へいきたいのか、自分でもあきれれる。

ともかく夏山、水分2リッター以上は絶対必要だが、処方鎮痛剤の他、テーピング・湿布葉・コルセット・芍薬甘草湯・アリナミンF錠・アミノバイタルを用意して出かけた。いっどこで腰痛が爆発しリタイヤするか、ひやひやもんだが、コースは何度も通っているの、万一の場合でも迷惑をかけず、一人で下山できるだろうと賭けた。

塩屋から旗振山へ、あれっと思えるほど簡単に着いた。この調子だと、ひょっとして最後までいけるかもしれないと、ラッキーな気分が湧いてきた。梅尾山の400段の階段や馬の背の岩稜も、いつもより楽に通過できた。先頭をリードする舂賀さんのペースが良かったおかげだと思う。妙法寺のトイレ休憩のとき、今山さんから行動食は、おにぎり（炭水化物）や塩分をこまめに摂るよう教わる。幼稚園の弁当のような手のこんだ料理を、ゆっくり味わう余裕はない。今回は初めて、歩きながらでも水分補給ができるハイドレーション(1.8L)に、薄めて冷やしたポカリスエットを入れたのが、すごく有効だった。クエン酸と砂糖で作る赤しそジュースをボトルに凍らせたのも、疲労回復にたいへん助かった。

高取山は独立峰で平地の街中から登るので少しきつい。私の旧姓は偶然にも同じ『高取』なので、ここでバテた時「おとうちゃん、応援してね」と心の中で祈ることにしている。神戸市が毎年11月に2回実施する六甲全縦走で、私はこの潮見茶屋の分岐で誘導ボランティアを引き受けている。一番手は早くも7時前に来るので、私も5時過ぎの始発電車に乗り山陽板宿から登って配置につく。ここは須磨浦公園から宝塚までの距離56kmのちょうど4分の1の地点だ。広場にはきれいなトイレがあり地下の水道管から冷たい飲料用水が出る蛇口があるので安心して給水したり、熱い体を洗ったりなど利用するといい。この先、丸山地区のだらだら歩きは、途中のコープや自販機で好きな飲み物を買って、ぐびぐび飲みながら家々の庭の花でも観賞しながら、気をまぎらわさないとしんどくてやりきれない。神鉄ひよどり駅一南東すぐの公園は木陰があって昼食に快適だ。私はそのちょっと前の小さな店がちがちに凍ったソフトクリームを100円で買った。食欲はなかったけど、これはまさにビールに匹敵するのどこしだった。皆がうらやましうらやましそうにぼやいていた。この店は記憶にとどめるべし。



午後はいよいよ正念場の菊水山の急階段だ。私の短足であの高い段差はこたえる。もっと低くきざんでくれと言いたい。やっとこーさつとこー菊水山の頂上に着く。よくもここまで、腰の用心を忘れて来たもんだ。さらに鍋蓋山に登るか、鈴蘭台にエスケープするか迷いひるむ。がしかし、ここで弱音をはくと、8月蓮華〜祖母谷温泉ロングコースの仲間に見放されるかも知れんと、必死の勇気をふるい起こす。以前ももっともって厳しい山を経験したので「お前なら、きっと出来る」と自分を信頼し、なんだ坂こんな坂・なんだ坂こんな坂と気合を入れて歩いた。

下ってきた大龍寺で、ロイヤルティーを2缶つづけて飲み干したのは、頑張った自分をほめる乾杯だ。水分は全部で4リッター以上飲んだろう。汗の量も半端じゃなかった。

布引の滝近くで、雷声寺が打つ午後6時の鐘の音が聞こえた。既に10時間を越える猛暑の中の縦走だった。ドクターストップを無視した私だが、土曜日なのに5時まで治療をまってやるからと言ってくれたのに、もうとうに間に合わない。途中で離れたB班はまだかしら気にかかる。携帯電話は圏外で通じない。

新神戸駅が見える広場でストレッチをして、A班は解散する。私は4人と歩いて三宮まで行き、垂水駅から車でマリニピアの「太平の湯」にたっぷり浸かり、水にざぶんと入り明石海峡大橋のイルミネーションが見える露天風呂で疲れを癒した。

駐車場を出る時、時計を見たら9時30分だった。ほっと緊張がとけたのか腰の鈍痛がぶり返し運転は辛かった。明日は、朝一番で医者へ駆け込まなくっちゃ。

ロックガーデンから最高峰（東お多福経由）

日時：7月6日（日） 参加者数：32名（17名+教室生15名）

参加者：A班 L：砂川（延） SL：待場

（会員）：尾内・大瀬・長谷川（孝）・竹内・松尾（美）・渡邊

（教室）：尾越・切貫・塩津・清水・原田・巻薫・丸岡

B班 L：今山 SL：舛賀

（会員）：河合（信）・河合（由）・荘所・砂川（美）・利弘・中嶋・山本

（教室）：大谷・英保・北野・武内・矢木・高橋・西村（寿）・西村（義）

コース：阪急芦屋川9：05～高座の滝9：35～（河原でストレッチ）9：50～風吹岩付近10：50（休憩）

10：55～雨ヶ峠12：00（昼食）12：20～東おたふく山～土樋割峠12：40（写真）13：00～一軒

茶屋13：50（休息）14：15～石の宝殿～土樋割峠15：15（休息）15：35解散

16：02の阪急バスに乗車

★ 山登り教室との合同トレーニングに参加して（B班）

中嶋

今年は、昨年より15日も早く四国地方の梅雨明け宣言ができました。近畿地方の梅雨明けはまだですが、本日の天気は、まさに真夏日の日差しである。私も暑さ対策にペットボトルの水を減らし、ザックを軽くした。

阪急芦屋川駅北広場に、山登り教室15人と会員17人が9：00に集合した。広場は待ち合わせの各グループで一杯であった。私達はA班とB班に分かれた。B班は、17名（教室8人と会員9人）となり、今山リーダーから本日の行動予定を聞いた後、舛賀さんを先頭に出発した。途中の芦屋ロックガーデンの入り口の茶屋までは和気あいあいと話しながら行った。坂を少し上り“高座の滝”にあるお堂前では人が溢れていた。A班とB班共にその先の河原に降り、ストレッチ体操をする。その間でも各団体グループが通り過ぎ、まるでラッシュアワーのような込み様である。これよりA班先行でロックガーデン中央稜のコースを登る。私達B班のすぐ後に他の団体が付いている。風化した岩場や滑りやすい砂地が続く、数回の休憩後風吹き岩に到着。そして花原ゴルフ場を見ながら、樹林帯を通り抜け、イノシシ避けのフェンス扉を抜けると水道があり、ここで一休みする。汗をかいたので顔でも洗いたかったが、次々にハイカーが順番に並んで行くので、やめた。その後15分程で雨が峠に到着、昼食をとる。ここも多くのハイカーであふれていた。これより右ルートを取り東お多福山を目指す。すぐ一面ササの原っぱとなる。見晴らしは良いが、強い日差しを遮る物がなくなり、本当に暑い、まわりで”暑い、暑い”の音が聞こえる。東お多福山（697m）に到着。昨年はここで写真を撮ったが、今回はそのまま通り過ぎる。これより下りとなり、木立の中を進む。20分程で舗装道路の土樋割峠に着く、A班と合同で休憩し写真を撮った。ここで、教室1名と会員2名がリタイヤした。小川を渡り、いよいよ黒岩谷西尾根のやせ尾根を登る。一步踏み外せば谷底まで一気に転げ落ちそうな所もあり、慎重に進む。ここまで来れば、さすがに登山者も少ない。教室の一人が疲れたのか“茶屋はまだか、まだか”と聞いてくる。昨年は私もどこまでも続きそうな山道に疲れ、途中会った下山者に“頂上はまだか”と聞いた事が有ったのを思い出す。



今年は途中一度も休憩せず、55分で踏破する、バンザイの声にやっとの思いで一軒茶屋に到着した。多くのハイカーが“かき氷”を食べている。

20分休憩後、六甲ドライブウェイを歩いて、鳥居のある石の宝殿へ、その駐車場に在る観音像前を通り山道を下山する。途中の蛇谷北山(840m)ではピークハントもせず、通り過ぎる。急坂の下り道が続き、茶屋より65分で一気に土樋割峠まで下る。その後、川岸で休憩中のA班と合流した。暫く休憩後、ストレッチ体操をして自由解散となる。3~4人と話しながら東お多福山登山口バス停まで歩き、バス、電車と乗り継いで帰宅した。ロングコースで疲れたけれども楽しい山行でした。

ちょっと一言

塩と醤油(7/6六甲山ロックガーデン~一軒茶屋)

利弘

脚力を鍛える(スクワット)・ザックの重量を10kg・お喋りは控える・睡眠は充分とる・その結果、昨年は果たせなかったが、どうにか皆さんと一緒に下山する事が出来てよかった。

しかし、一軒茶屋への急登はパーティのお陰であり、ひとりだったら断念していると思います。

ザックの中には常に冷却スプレー・エヤーサロンパス・テーピング・包帯等が入っているが塩・醤油は入っていなかった。

これらは、足がつついた時やバテタ時に非常に良い効果があるとのことでした。実際に塩の効果を目撃しました。次回からは塩・醤油も仲間に入る事になるでしょう。(お世話にならないようになりたい)

会員だより

● 高御位山遊会は人生道場

会員になる前。小野アルプスの紅山はもう二度と登らないでおこうと決めた時があつた。すっかり遠のいていた挑戦で怖かったのです。

入会して本格的に歩き出して3年ほど経つ、もう終止符と思っていた世界を生き延びている。

この脚 大丈夫かと思ひながら・・・ 河合(由)



紅山の急な岩場です

● きっちゅうのらく 橘中之楽とは、囲碁や将棋をする楽しみのこと。に熱中しています。

簡単な道具と単純なルールにもかかわらず、誰にも理解しきれない奥深さと面白さがあるからです。

どんな構想で打ち進めていくか、山行計画と相通ずるものがあります。

今日も碁を打ちに行ってきます。

竹さん

